

東京学芸大学先端教育人材育成推進機構

外国人児童生徒教育推進ユニット

日本語プログラム開発事業

高等学校部会



活動・ユニットプラン

プログラムC

「私の引越しトランク」

— 話す —



川上 さくら （大阪府立大阪わかば高等学校）

本資料の利用について

教育・研修を目的とした利用に限ります。資料としてご利用を希望する場合は、コンテンツの出典として「利用する資料等の作成者・執筆者」「利用する資料等が作成・公開された事業名」「コンテンツが示されているウェブサイトのURL」を明記して利用してください。部分的な切り取りや加工をして利用することは禁じます。

プログラムC 技能別日本語

目指す生徒像

- (1) 社会的存在として自己の目標をもち、粘り強くキャリアを切り拓く生徒

時間 50分×2回 (科目名の例：日本語Ⅱ)

形態 小グループ

1 対象生徒 について

年齢 : 16歳

学年 : 高校1年生

滞日期間 : 1～3年目

日本語の力 : ステップ (3以上)

包括的なことばの力 : ステージ (D以上)

文科省「ことばの力のものさし」

2 目標と評価

目標	評価
(1) 選択の理由を説明するための表現を学び、自分の考えを他者に伝えることができる。 (知識・技能)	1時間目の活動1、2時間目の活動1でのやり取りで評価
(2) 新しい環境に移るときに持っていくと良いものを、根拠を持って他者に伝えることができる。 (思考・判断・表現力)	2時間目の活動1でのやり取りで評価
(3) 移住する自己を捉え、その環境の中で何を大切にしたいのか、また自分の強みは何かに気づくことができる。 (学びに向かう力・人間性)	1時間目の活動2、2時間目の活動1でのやり取りで評価

3 言語事項

機能：選択の理由を説明する。共感的にコメントする

談話構造：自身の状況・考えを示す。選択を伝える。
選択の理由を具体的に添える。

語彙・表現：

○持ち物の優先順位を伝える表現：

- ・～を優先する。 ・～をもっていきます。なぜなら ～
- ・～ができるから／（可能形） ・～より～のほうがべんりです
- ・～はなくてもいいと思います ／～があったほうがいいと思います
- ・絶対～が必要です／～べき ・～かもしれない

○移住に関する語彙：

家族、友達との思い出、趣味、勉強、挑戦、健康、将来、慣れた食事
維持する、防ぐ、コミュニケーションをとる

4 活動展開（概要）

〈1時間目〉

活動1 ウォームアップ
「無人島に持っていくもの」（20分）

- 無人島に持っていくものを話し合う活動を通して、根拠を示した上でアドバイスを言う表現に慣れる

活動2 「移民のトランク
を見てみよう」（30分）

- 自分が日本に引っ越してきた時に、国から持ってきたものは何だったか
- 昔の移住者たちが持っていたものは何か

〈2時間目〉

活動1 「私の引越した
トランク」（50分）

- 自分にとって大切なもの・優先するものは？
- 自分が持っていく持ち物を選び、話す

4 活動展開 < 1 時間目① >

ウォーミングアップ 「無人島に持っていくもの」

学習活動(生徒の活動)

- 1 「無人島に持っていくもの」について理由・根拠を示して話し合う。

無人島に持っていくもの

(3つだけ 選んでください):

お金、水、ナイフ、マッチ、ライター、サバイバルの本、寝袋、救急箱、テント

<表現>

- ・～をもってきます。なぜなら～
- ・～ができるから／(可能形)
- ・～はなくてもいいと思います／～があったほうがいいと思います。

○言語運用例(やりとり、発言時の表現等)

T: あなたはこれから無人島に行きます。このリストから3つ持っていけるものを選んでください(3つだけ)。何を持っていきますか？

S: 水とナイフとテントを持っていきます。なぜなら、水は命を維持するために必要で、ナイフは、木を切ったり魚や食料を捕ったりできるからです。無人島なので、お金はなくてもいいと思いますが、雨と寒さを防ぐためにテントがあったほうがいいと思います。



4 活動展開 < 1 時間目② >

「移民のトランクを見てみよう」

学習活動（生徒の活動）

○言語運用例（やりとり、発話時の表現等）

2 自分が日本に引っ越してきた時に、国から持ってきたものは何だったか、紹介し合う。

T: あなたは日本に来るとき、何を持ってきましたか。
S1: 私は、サッカーのユニフォームを持ってきました。
なぜなら、日本でもサッカー選手になるために挑戦したいと思ったからです。

3 資料写真を見ながら昔、移住した人たちの持ち物について話し合う。

T: どうして辞書を持っていったと思いますか。
S1: 辞書は、コミュニケーションをとるために持っていったと思います。
S2: わたしも、そう思います。昔は、翻訳アプリがなかったもので、新しい言語を学ぶのは、今よりもずっと大変だったと思います。

・移民した人が持っていったものは？

・それを持っていった理由は？

4 活動展開

<1時間目②>

「移民のトランクを見てみよう」

3 自分が日本に引っ越してきた時に、国から持ってきたものは何だったか、紹介し合う。

2 資料写真を見ながら昔、移住した人たちの持ち物について話し合う。

- ・移民した人が持っていったものは？
- ・それを持っていった理由は？

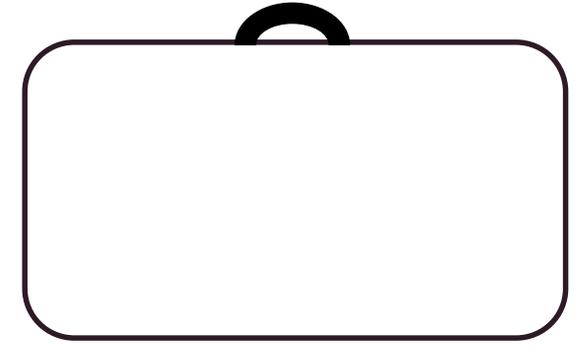
○言語運用例

(やりとり、提示する表現等)

- T:あなたは日本に来るとき、何を持ってきましたか。
S1:私は、サッカーのユニフォームを持ってきました。なぜなら、日本でもサッカー選手になるために挑戦したいと思ったからです。
S2:それで、毎日、部活を頑張っているんですね。応援します！。
T:どうして辞書を持っていったと思いますか。
S1:辞書は、コミュニケーションをとるために持っていったと思います。
S2:わたしも、そう思います。昔は、翻訳アプリがなかったなので、移民は、今よりもずっと大変だったと思います。



4 活動展開 <2時間目> 「私の引越しトランク」



学習活動（生徒の活動）

- 1 新たな引越しの際、自分が持っていく持ち物は何かを考える
（絵を描いてもよい）

家族・友達との思い出・趣味・勉強・挑戦・健康・コミュニケーション・慣れた食事
優先する・維持する・防ぐ

○言語運用例（やりとり、発話時の表現等）

T:これから新しい国に引っ越すとしたら、あなたは何を持っていきますか。どうしてですか？あなたにとって大切なもの／優先するものは何ですか？

S1:最初はきっとさびしいです。だから、友達との思い出の写真を持っていきます。「私には友達がいて応援してくれる。頑張ろう」という気持ちになるからです。

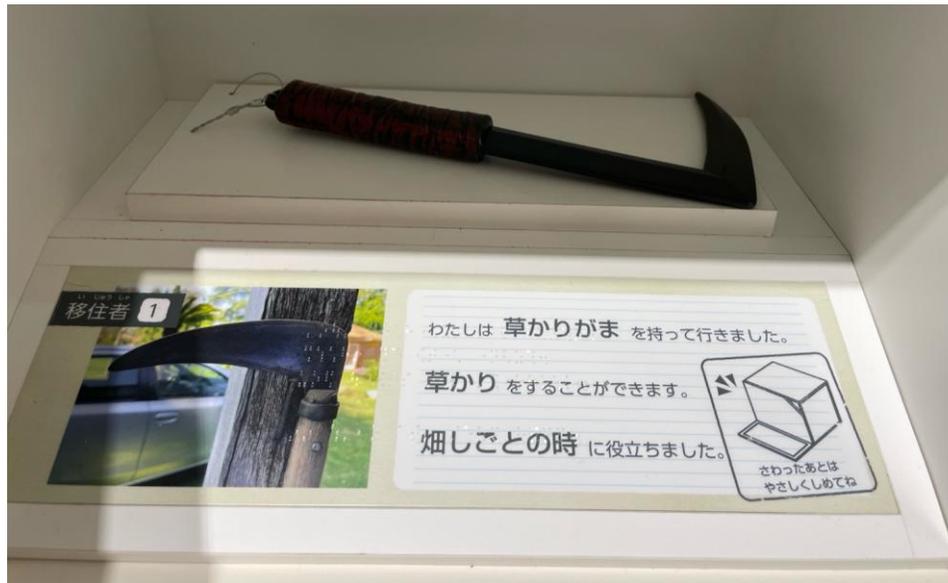
S2:将来の夢を優先します。なので、エンジニアになるために、関連する専門の本を持っていきます。これまでの勉強を続けたいと思うからです。

5 活動の工夫

- ・生徒たちが「話したい！」という気持ちになるように、話題を設定した（「無人島に持っていくもの」「私が日本に持ってきたもの」）
 - ・生徒たちの価値観が表れるように、「対話」を大切にしたい。
 - * 日本へ持ってきたもの→過去の出来事を語る
 - * 未来の「引越し」→今の価値観
-

6 教材の工夫

- ・ JICA横浜海外移住資料館には、昔の移民が持っていった品々が展示されているので、それらの資料を活用を想定した。移住するということが歴史的に繰り返されていることを感じられるのではないか。（展示「移民の七つ道具」）



JICA横浜海外移住資料館展示「移民の七つ道具」にて川上が撮影

7 対象・実施条件による調整のアイデア

- ・「移民のトランクを見てみよう」の活動ができなくても、実施可能。
 - ・話す活動の後に、話したことを作文に書く活動を入れることもできる
 - ・相手に寄り添う表現（分かる！ そうだよね！ 私も一緒！ など）を学ぶ機会
にすることも可能
-